

単元名	器械・器具を使つての運動（鉄棒）	配当時間	4時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守つて仲よく運動をしたり、運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 運動の仕方の課題をもち、鉄棒を使つた運動の楽しさを求めて活動を工夫することができる。 (3) 鉄棒を使つて振つたり、上がったたり、回つたりすることができる。		
単元を構想する上での留意点	鉄棒運動は、鉄棒を軸として、ゆれたり、回転したりするという独自のおもしろさがある。また、自分で技を考えたり、技をつなげたりして、自分だけの連続技をつくるという創造するおもしろさもある。3年生では低学年で行つたお話鉄棒から、さらに発展させて行く。自分のできる技を組み合わせ、鉄棒を軸にして体を回転させ、着地するという、より鉄棒運動らしいおもしろさを味わわせる。 本単元では、教師がモデルとして示したお話鉄棒をもとにして、「手首の返し」「体を振る」「あごの使い方」を学習し、片膝かけ回りを中心とした鉄棒の連続技づくりに挑戦させる。		
単元展開例			
準備	鉄棒用補助具、学習カード など		
学 習 活 動	留 意 事 項 な ど		
1 <a href="#">お話鉄棒</a> の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話鉄棒を楽しもう</span> ○学習カードの使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方を知る。 ○グループを編成する。 ○鉄棒を使つて遊ぶ。  ○お話鉄棒をする。 ・モデル1 つばめさん、片足かけて、後ろ下り、両足かけてコウモリだ、ブランコ遊びだぶらんぶらん、お空にうかんで立ちました 2～3 鉄棒遊びをする。 ○鉄棒を使つてできる遊びで楽しむ。（めあて1）  ○お話鉄棒をする。（めあて2） ・モデル2 片足かけたつばめさん、ぶらぶらふつて、あがつたよ  ・モデル3 片足かけたつばめさん、一気にたおれて、もどつたよ ・モデル4 片足かけたつばめさん、一気にまわつて、よっこらしよ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話を作つて鉄棒遊びをすることを知らせ、意欲を高める。</li> <li>・<a href="#">鉄棒を使った遊びの例</a>やお話鉄棒のモデルを学習カードに例示しておくといよ。</li> <li>・2人1組で1グループを作る。</li> <li>・易しい遊びやゲームなどを取り入れ、腕支持感覚や逆さ感覚を体験させる。</li> <li>・コウモリ振りから着地することがむずかしい場合は、手を地面にしっかりついてから両足着地させる。</li> <li>・学習カードに示したいろいろな遊びに挑戦させる。</li> <li>・モデル2は膝かけ振り上がりの学習である。「手首の返し」「体を振る」「あごの使い方」に慣れさせる。</li> <li>・上がれない場合は、低い鉄棒で片膝をかけて足で地面をけて上がつたり、補助してもらつて手首を返して上がる感覚を体験させる。</li> <li>・<a href="#">補助具</a>（膝用サポーターなど）を使つて練習させる。</li> <li>・モデル3は片膝かけ回り（後方）の予備技として後ろに倒れる部分の学習である。</li> <li>・モデル4は片膝かけ回り（後方）の学習である。</li> </ul>		

<p>○できる技を加えてお話鉄棒を楽しむ。</p> <p>○反省し、まとめをする。 ・できばえ ・グループでの協力 など</p> <p>4 発表会をする。</p> <p>○体ほぐしの運動をする</p> <p>○演技種目の練習をする。</p> <p>○発表会をする。</p> <p>○反省し、まとめをする。 ・できばえ ・グループでの協力 など</p> <p>○単元のまとめをする ・話し合い ・自己評価</p>	<p>・モデル4ができるようになると片膝かけ回り（後方）を連続したり，片膝かけ回り（前方）をしたり，回転の途中で両膝を鉄棒にかけたりと，いろいろな<b>発展技</b>ができる。</p> <p>・2人1組のグループでお互いに補助したりアドバイスしたりして行わせる。</p> <p><b>評</b>2人で互いに教え合つて練習する活動を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p><b>評</b>発表会を通して，「技能」を評価する。</p> <p>・感想の発表や，学習カードによる自己評価などをさせる。</p>
---	--